

高木仁三郎市民科学基金 助成研究/研修 完了報告書

提出日：2010年5月28日

1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

氏名(グループ名)	アイリーン・美緒子・スミス(グリーン・アクション)
連絡先・所属など	〒606-8203 京都市左京区田中関田町22-75-103 電話：075-701-7223 メール：info@greenaction-japan.org
調査研究・研修のテーマ	原子力は温暖化対策にならない むしろ新規原子力は温暖化を悪化させる

2. 調査研究・研修結果の概要

原子力発電は温暖化対策の「切り札」になりうるのかについての情報や分析は、海外には豊富にあり、原子力推進の機関でも、「目から鱗」となる情報が豊富にみられた。具体的には、世界銀行(World Bank)、エネルギー関連の研究所、スタンダード&プアーズなどの金融情報・分析サービスを行っている会社、シティグループ、原子力産業の情報を取り扱う出版物、アジア・ヨーロッパ・米国の大学に所属する学者の研究そしてMIT(マサチューセッツ工科大学)のような大学上げての研究報告、大手環境団体、ドイツ政府のような公的機関の委託報告書、IEA(国際エネルギー機関)などが発行している情報である。

原発の反対運動を主とするNGOを対象に、「原子力は温暖化対策にならない、むしろ新規原子力は温暖化を悪化させる」について院内集会、メーリングリスト、メルマガなどを通して伝えていくことが出来た。COP15に向けて、国内NGOの企画会議に参加し、この問題を取り上げるよう働きかけた。気候変動問題に取り組む主な団体と協力し、与党に働きかけ、この問題について情報伝達を行った。国際的にこの問題に取り組む研究者と共に、一対一で与党議員と会い、今後の活動提案も含め情報提供と議論を行うことができた。さらに、グリーン・アクションのHPを通じて、海外のNGOの活動、たとえば「原子力と温暖化に関する国際アピール」という署名のサイバーアクション、を紹介するなど、海外の活動に日本からも参加できるよう紹介することができた。一般市民への普及をめざして、マスコミに連絡を取り、英文の資料と和訳を提供した。学生を対象に、大学の授業・大学主催の企画でこの問題を取り上げた。

ヨーロッパと米国のNGOとの関係については、直接連絡を取り合い、最新の資料を取り寄せる過程を通して、今後も調査研究の課題を続けるための協力・連携体制を整えることが出来た。

3. 調査研究・研修の経過

2009年4月～9月

- ・ 海外のNGO (Mycle Schneider Consulting, Union of Concerned Scientists, Rocky Mountain Institute, Greenpeace Internationalなど) と直接連絡を取り、最新の資料を取り寄せた。
- ・ 若い活動家と会い、この問題を展開して行く方法を話し合った。また、研究者・活動家と話し合い (気候ネットワーク、Ecologistなど)、参加を働きかけて来た。
- ・ 民主党を中心に国会議員本人に直接働きかけた。以下議員名を記す：前原誠司・5月2日、原口一博・6月3日、大串博志・6月3日、福山哲郎・7月6日、直島正行・7月6日 (大変短く)、福島瑞穂・7月。後は議員秘書にも会った。選挙後に、議員本人数名と会う約束も取り付けた。
- ・ 「2009年世界の原子力産業現状報告－ 経済性問題に焦点」という最新のドイツ政府委託報告書、また「新基原子力は温暖化対策に逆効果を与える」などを示している資料 (米国のRocky Mountain Institute、憂慮する科学者同盟 (UCS) の資料) などを抜粋し、和訳した。
- ・ COP15に向けての国内NGO企画ミーティングに参加し、この問題を取り上げることを話し合った。
- ・ 海外のNGOの「原子力と温暖化に関する国際アピール」という署名のサイバーアクション紹介を、グリーン・アクションのホームページで開始した。
- ・ 立命館大学の授業でこの問題を取り上げた (6月12日)。関西の大学での勉強会、または講演・ディスカッションの企画を開始した。この企画の一部は、学生と行っている。
- ・ 日本のNGOと連携して勉強・討論会の企画を進めた。
- ・ マスコミに連絡を取り、英文の資料、その一部の和訳を提供した。(毎日、共同など。)

2009年10月～2010年3月

- ・ 勉強会とディスカッション：「原子力は温暖化対策にならない。むしろ原発は逆効果」(10月14日・総評会館)
- ・ 「原子力は温暖化対策にならない。むしろ原発は逆効果」(10月29日・精華大学)
- ・ COP15「原発は温暖化対策の切り札なの？」トーク&ディスカッション (12月12日・せいきょう会館)
- ・ 院内集会「日本を活性化させる2020年までの温暖化対策」(緑の未来と共同) 「原発は温暖化対策に効果的なのか?－海外情報からの視点」(1月25日)
- ・ 「原子力は温暖化対策にならない」(2月20日・岐阜)
- ・ 環境委員会・議員政策研究会 第1回会合：「原子力発電は温暖化対策に有効なのか?－海外情報から読み解く」(3月10日)

4. 調査研究・研修の成果

- ・ 気候変動問題に取り組む主な団体と協力し、与党に働きかけ、この問題について情報伝達を行った。
- ・ 原発の反対運動を主とするNGOを対象に、メーリングリスト、メルマガなどで情報発信。
- ・ 院内集会、民主党環境委員・議員政策研究会 第1回会合に招へいされた。
議題：「原子力発電は温暖化対策に有効なのか?－海外情報から読み解く」
- ・ 国際的にこの問題に取り組む研究者と共に、一対一で与党議員と会い、今後の活動提案も含め情報提供と議論を行うことができた。
- ・ 海外の活動に日本からも参加できるよう紹介した。(たとえば「原子力と温暖化に関する国際アピール」という署名のサイバーアクション)
- ・ 一般市民への普及をめざして、マスコミと連絡を取り、英文の資料と和訳を提供。
- ・ 学生を対象に、大学の授業・大学主催の企画でこの問題を取り上げた。
- ・ ヨーロッパと米国のNGOとの関係について、直接連絡を取り合い、最新の資料を取り寄せる過程を通して、今後も調査研究の課題を続けるための協力・連携体制を強力に整えることが出来た。

5. 対外的な発表実績

- 勉強会とディスカッション：「原子力は温暖化対策にならない。むしろ原発は逆効果」（10月14日・総評会館）
- 「原子力は温暖化対策にならない。むしろ原発は逆効果」（10月29日・精華大学）
- COP15「原発は温暖化対策の切り札なの？」トーク&ディスカッション（12月12日・せいきょう会館）
- 院内集会「日本を活性化させる2020年までの温暖化対策」（緑の未来と共同）「原発は温暖化対策に効果的なのか？－海外情報からの視点」（1月25日）
- 「原子力は温暖化対策にならない」（2月20日・岐阜）
- 環境委員会・議員政策研究会 第1回会合：「原子力発電は温暖化対策に有効なのか？－海外情報から読み解く」（3月10日）

6. 今後の展望

- 欧米だけでなく韓国や中国のNGOと連絡をとり合い、この問題に対する取り組みについて、連絡体制を作っていきたい。
- 今後も、今まで得た成果を生かし、海外との連携を深め、海外の情報を集め、和訳などを通じての伝達を継続して行く。
- 若い活動家を育てながら活動を行うことを積極的に進める。
- 国内で広め、気候変動問題に取り組む団体、環境問題一般に取り組む団体などにも行動を促す。
- 国内で経済学の視点からこの問題が取り組まれるよう活動する。
- マスコミへの情報提供を強化する。